



## 2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社  
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

2020年3月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	22,734	△19.4	4,512	3.1	4,609	1.5	3,171	0.4
2019年6月期第2四半期	28,202	△1.7	4,377	△2.9	4,542	△4.0	3,157	△0.9

(注)包括利益 2020年6月期第2四半期 3,456百万円 (11.6%) 2019年6月期第2四半期 3,097百万円 (△16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	66.96	—
2019年6月期第2四半期	66.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	63,636	49,516	77.7	1,045.57
2019年6月期	59,815	46,958	78.4	991.55

(参考)自己資本 2020年6月期第2四半期 49,466百万円 2019年6月期 46,914百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年6月期	—	22.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△5.9	9,000	7.0	9,200	6.5	5,900	9.5	124.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期2Q	56,590,410 株	2019年6月期	56,590,410 株
2020年6月期2Q	9,232,040 株	2019年6月期	9,231,672 株
2020年6月期2Q	47,358,610 株	2019年6月期2Q	47,359,426 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公的需要などの内需が下支えとなるものの、消費税増税の影響もあり、全体では横ばいで推移いたしました。一方、海外においては、米国経済の経済概況は堅調さを維持しているものの、中国経済は米中摩擦による輸出下振れ圧力の影響で停滞局面が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は227億3千4百万円（前年同四半期比19.4%減）となり、営業利益は45億1千2百万円（前年同四半期比3.1%増）、経常利益は46億9百万円（前年同四半期比1.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億7千1百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの自社更新及び一般法人向けが引き続き堅調であったことにより、売上高は65億6千4百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は28億4百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

## ② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフト販売が引き続き堅調でありましたが、NBS Technologies Inc. 傘下の非中核事業を売却したことにより売上高が減少し、売上高は27億6千3百万円（前年同四半期比15.4%減）、セグメント利益は5億6千7百万円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

## ③ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が伸び悩み、売上高は77億8百万円（前年同四半期比10.0%減）、セグメント利益は8億4千1百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

## ④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、低採算事業であった環境試験装置からの撤退に伴う費用減少があり、売上高は8億5千1百万円（前年同四半期比15.6%減）、セグメント利益は6千3百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

## ⑤ 設計事業

設計事業につきましては、公的部門を含む案件受注が堅調に推移したこともあり、売上高は22億1千3百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は1億4千9百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて38億2千1百万円増加し、636億3千6百万円となりました。主な要因は、流動資産における現金及び預金15億1百万円増加、受取手形及び売掛金3億9千4百万円増加、リース投資資産5億4千3百万円減少、投資その他の資産における投資有価証券6億1千万円増加等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて12億6千3百万円増加し、141億2千万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金11億4千2百万円増加等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて25億5千8百万円増加し、495億1千6百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益31億7千1百万円の計上、配当金9億4千7百万円の計上等であります。この結果、自己資本比率は77.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、237億7千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億1百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は31億5千6百万円（前年同四半期は24億9千6百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益46億1千万円、仕入債務の増加額11億2千9百万円等の収入に対し、売上債権の増加額5億7千1百万円、法人税等の支払額11億4千1百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は4億3百万円（前年同四半期は9億7千2百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入10億3千5百万円の収入に対し、有形固定資産の取得による支出3億5千5百万円、投資有価証券の取得による支出2億1千2百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億4千1百万円（前年同四半期は10億5千万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額9億4千7百万円の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年8月19日付の「2019年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	23,318	24,820
受取手形及び売掛金	7,510	7,904
リース投資資産	1,322	778
商品及び製品	4,123	5,575
仕掛品	401	257
未成工事支出金	219	205
原材料及び貯蔵品	938	983
その他	1,212	1,523
貸倒引当金	△39	△20
流動資産合計	39,006	42,026
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,827	1,812
土地	6,081	6,052
その他(純額)	1,670	1,848
有形固定資産合計	9,578	9,714
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,659	2,578
その他	336	442
無形固定資産合計	2,995	3,021
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,977	2,588
関係会社株式	4,308	4,413
その他	2,029	1,952
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	8,234	8,874
固定資産合計	20,809	21,609
資産合計	59,815	63,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,529	4,671
リース債務	940	494
未払法人税等	1,116	1,319
賞与引当金	163	101
製品保証引当金	0	1
受注損失引当金	8	3
その他	2,562	2,628
流動負債合計	8,321	9,220
固定負債		
リース債務	1,054	1,203
退職給付に係る負債	1,282	1,405
資産除去債務	12	11
その他	2,184	2,278
固定負債合計	4,535	4,899
負債合計	12,856	14,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,029	9,029
利益剰余金	38,048	40,322
自己株式	△4,702	△4,703
株主資本合計	47,375	49,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	437
為替換算調整勘定	△645	△563
退職給付に係る調整累計額	18	△55
その他の包括利益累計額合計	△461	△181
非支配株主持分	44	49
純資産合計	46,958	49,516
負債純資産合計	59,815	63,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	28,202	22,734
売上原価	17,264	11,880
売上総利益	10,937	10,854
販売費及び一般管理費		
役員報酬	186	173
給料及び手当	2,086	1,991
賞与	420	420
賞与引当金繰入額	113	58
退職給付費用	105	104
その他	3,648	3,592
販売費及び一般管理費合計	6,560	6,341
営業利益	4,377	4,512
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	0	—
持分法による投資利益	185	114
その他	13	21
営業外収益合計	203	140
営業外費用		
支払利息	2	6
為替差損	12	22
貸倒引当金繰入額	0	—
支払手数料	11	5
その他	11	8
営業外費用合計	38	44
経常利益	4,542	4,609
特別利益		
固定資産売却益	0	0
子会社株式売却益	—	32
子会社清算益	—	4
その他	—	0
特別利益合計	0	37
特別損失		
固定資産除却損	4	5
事務所移転費用	27	—
事業構造改善費用	—	11
損害賠償金	—	10
災害による損失	—	8
その他	3	—
特別損失合計	35	36
税金等調整前四半期純利益	4,506	4,610
法人税、住民税及び事業税	1,407	1,283
法人税等調整額	△63	149
法人税等合計	1,344	1,433
四半期純利益	3,162	3,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,157	3,171



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,162	3,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	280
為替換算調整勘定	19	101
退職給付に係る調整額	4	△73
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△28
その他の包括利益合計	△65	279
四半期包括利益	3,097	3,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,092	3,450
非支配株主に係る四半期包括利益	5	5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,506	4,610
減価償却費	381	379
投資有価証券売却損益(△は益)	1	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	24	△61
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	2	6
持分法による投資損益(△は益)	△185	△114
売上債権の増減額(△は増加)	△757	△571
たな卸資産の増減額(△は増加)	△239	△1,532
仕入債務の増減額(△は減少)	407	1,129
前受金の増減額(△は減少)	52	12
リース投資資産の増減額(△は増加)	63	126
その他	△149	294
小計	4,100	4,276
利息及び配当金の受取額	31	35
利息の支払額	△2	△5
損害賠償金の支払額	—	△15
法人税等の支払額	△1,633	△1,141
法人税等の還付額	—	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,496	3,156
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△35	△35
定期預金の払戻による収入	46	1,035
事業譲受による支出	△120	—
有形固定資産の取得による支出	△186	△355
無形固定資産の取得による支出	△29	△33
投資有価証券の取得による支出	△76	△212
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	227
関係会社株式の取得による支出	△658	△50
貸付けによる支出	△42	△128
貸付金の回収による収入	120	72
その他	9	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△972	403
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△947	△947
その他	△103	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,050	△1,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	480	2,501
現金及び現金同等物の期首残高	19,891	21,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,371	23,773

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたNBS Technologies SAS及び中央設計株式会社の株式を全て売却したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたアドバンスフードテック株式会社は、連結子会社であるグラフテック株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたGraphtec Digital Solutions Inc. の清算が終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、変更後の連結子会社の数は25社であります。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	6,301	3,265	8,569	1,009	2,124	21,270	6,930	0	28,202
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	25	60	32	—	0	118	69	△187	—
計	6,326	3,326	8,602	1,009	2,124	21,388	7,000	△187	28,202
セグメント 利益	2,575	432	952	60	143	4,163	183	29	4,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース及び割賦、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益34百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	6,564	2,763	7,708	851	2,213	20,102	2,632	—	22,734
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	55	217	142	—	0	415	47	△463	—
計	6,619	2,981	7,851	851	2,213	20,517	2,680	△463	22,734
セグメント 利益	2,804	567	841	63	149	4,427	15	70	4,512

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース及び割賦、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額70百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益66百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。